

建設系 CPD 協議会 第 3 回シンポジウム開催される

地盤工学会継続教育システム委員会

「建設系 CPD 協議会（会長：清宮理早稲田大学教授）」主催のシンポジウムが、2009年11月16日、建築会館で開催された。本協議会は2009年11月時点において、表一に示す14団体が加盟している団体で、2003年に設立された。シンポジウムのテーマは、2007年の第1回シンポジウムから、「建設技術者は継続教育をどう活用すべきか」という一貫したもので、今年は、国内外の状況について、発表・パネルディスカッションが行われた。表二に、今回のシンポジウムの内容を示す。参加者は、総勢100人であり、後半に行われたパネルディスカッションでは、フロアからの活発な意見もあり、盛況であった。

表一に、これまで開催されたシンポジウムのタイトルをまとめる。このように、本協議会は CPD (Continuing Professional Development：継続教育) の啓発活動と技術者を含めた社会への普及を目指している。

地盤工学会は、本協議会の設立当時から参画し、システム部会長を歴任し、各加盟団体が主催する講習会などを一覧できるシステムの構築に関わり、昨年からは、協議会の副会長を拝命するなど、本協議会で指導的な立場にある。また、2010年4月からは、本協議会の会長に末岡徹氏（前地盤工学会副会長、大成建設）が就任し、地盤工学会が本協議会の事務局となる予定である。これを機会に、建設系技術者の社会認知度と継続教育システムの浸透に努めていきたいと考えている。

（文責：片桐雅明、永田満枝）

（原稿受理 2010.1.12）

表一 建設系 CPD 協議会の加盟団体

団 体	加入者数
(社)全国土木施工管理技士会連合会	約 10 万人
(社)日本コンクリート工学協会	約 4 万人
(社)日本建築士連合会	約 3.5 万人
(社)日本建築学会	約 3.4 万人
(社)土木学会	約 3.4 万人
(社)建設コンサルタンツ協会	約 2.2 万人
(社)空気調和・衛生工学会	約 1.6 万人
土質・地質技術者生涯学習協議会	約 1.4 万人
(社)農業農村工学会	約 1.3 万人
(社)日本都市計画学会	約 9.6 千人
(社)地盤工学会	約 9.6 千人
(社)日本造園学会	約 9.5 千人
(社)日本技術士会	約 6.5 千人
(社)日本アセスメント協会	約 1.3 千人

表二 シンポジウムの内容

講演：
清宮 理（協議会会長）：建設系 CPD 協議会の活動
野村哲郎（協議会システム部会長）：アンケート結果の報告
猪熊 明（協議会委員）：アメリカ・イギリスの継続教育
片桐雅明（協議会副会長）：アメリカ：各州の継続教育状況
パネルディスカッション（司会：清宮理会長）
・ 箕作光一（国交省関東地整）
・ 佐々木寿郎（協議会委員，土木学会）
・ 黒田正信（清水建設）
・ 野村徹郎（システム部会長，日本造園学会）
・ 猪熊 明（協議会委員，全国土木施工管理技士会連合会）
・ 片桐雅明（協議会副会長，地盤工学会）

表三 開催されたシンポジウムのタイトル

	シンポジウムのタイトル
第 1 回(2007)	建設技術者は継続教育をどう活用すべきか —技術者の地位向上と CPD—
第 2 回(2008)	建設技術者は継続教育をどう活用すべきか —CPD の活用について（個人と発注者）—
第 3 回(2009)	建設技術者は継続教育をどう活用すべきか —国内外の状況—